

## 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

| ※受理番号          | 学 校            | 教 科       | 種 目     | 学 年 |
|----------------|----------------|-----------|---------|-----|
| 103-77         | 高 等 学 校        | 国 語       | 文 学 国 語 |     |
| ※発行者の<br>番号・略称 | ※教科書の<br>記号・番号 | ※ 教 科 書 名 |         |     |
| 143 筑摩         | 文国 708         | 文学国語      |         |     |

## 1. 編修の基本方針

## ● 教科書の理念

この教科書は、「教育基本法」「学校教育法」の規定や理念を踏まえ、特に以下の点に留意して編修しました。

- ①豊かな人間性・創造性を身につけさせる。
- ②平和で民主的な国家及び社会の形成者たる人物を育成する。
- ③社会において果たさなければならない使命を自覚させる。
- ④それぞれの個性に応じた進路を決定するのに必要な一般的な教養を高める。
- ⑤社会について、広く深い理解と健全な批判力を養う。
- ⑥社会の発展に寄与する態度を養う。

## ● 教材の選定と配列

教育基本法第2条の1～5号に示された教育の目標を達成するために必要な教材を精選して掲載しました。教材の選定と配列にあたっては、次のような点に意を用いました。

- ①豊かな感性や情緒をはぐくみ、言語文化に対して主体的に関わりをもつことができるように、近代以降の文学的な作品から広く教材を選定しました。
- ②語彙を増やし、適切にことばや文章を用いて表現することのできる力を養い、文学的な表現を用いて創造力を豊かにすることのできる教材を選定しました。
- ③さまざまな形式の文章や作品に触れることで深い知識と教養を身につけ、生涯にわたって主体的・対話的で深い学びへと導かれる教材を選定しました。
- ④教材がたがいに有機的に繋がり、学習が進むにつれ、国語の資質および能力が的確に身についていくことを意識して教材を配列しました。
- ⑤「思考力・判断力・表現力」の2領域のうち、「書くこと」については2単元、「読むこと」については16単元と単元をバランス良く配置し、また言語活動例として「実践」を適宜配置し、効果的に言語能力を高めることができるよう配列しました。

## ● 学習を支える工夫

各単元および教材を通じて、高校生の知識・技能を高め、主体的・対話的で深い学びへと導くために、次のような点に意を払いました。

- ①単元の目標：第一部・第二部の冒頭に、それぞれの単元を通じて身につけたい資質・能力を端的に示しました。また、「書くこと」「読むこと」の2領域の、どの領域をのぼす単元であるかを明示しました。
- ②視点：教材の冒頭に、身につけたい資質・能力について、教材の着目すべき点を掲げました。
- ③学習：教材の末尾に「理解」「表現」「重要漢字」を設け、資質・能力を身につけるにあたって、教材のどのような点を活用することができるかを明示しました。
- ④実践：言語能力を高め、主体的・対話的で深い学びへと導く具体的な活動を適宜示しました。
- ⑤「フォーカス」「読解の窓」等のコラムおよび付録を設け、文学や教材本文への理解をより深めることができるようにしました。
- ⑥学習に役立つデジタル・コンテンツを適宜用意いたしました。

## 2. 対照表

図書の構成・内容と教育基本法第二条第一号から第五号との対応を下記に示します。

| 図書の構成・内容   | 特に意を用いた点や特色  | 該当箇所         |
|--|--|--------------|
| <b>第一部</b>   |  |              |
| 第1章 ことばから広がる世界<br>《読む》<br>・プラスチック膜を破って（梨木香歩）<br>・情報の彫刻（原研哉）<br>・バイリンガリズムの政治学（今福龍太） | 「プラスチック膜を破って」「情報の彫刻」「バイリンガリズムの政治学」の3本の文章を通して、ことばが境界を作り替えていく様子を学び、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことと、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを考えるきっかけとなることを期しました。（第1号、第5号）  | p12～33       |
| 第2章 物語との出会い<br>《書く》<br>・山月記（中島敦）<br>・神様（川上弘美）<br>〈参考〉神様 2011（川上弘美）                 | 「山月記」「神様」および、参考としての「神様 2011」を通して小説の世界の広がりを読み、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うようにしました。（第1号）   | p34～58       |
| 実践① 構成と展開を工夫して、<br>変身物語を書こう《書く》<br>〈参考〉「私は」——書き出しの一行（角田光代）                         | 自ら「変身物語」を創作することで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うようにしました。また、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。（第1号・第2号）   | p59～65       |
| 第3章 背後にあるメッセージ<br>《読む》<br>・実体の美と状況の美（高階秀爾）<br>・メディアと倫理（和田伸一郎）<br>・ラムネ氏のこと（坂口安吾）    | 「実体の美と状況の美」「メディアと倫理」「ラムネ氏のこと」と3本の文章を通して、例示の効果をたしかめ、優れた文章のもつ説得力を学び、その中から、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。また、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。（第2号・第5号） | p66～87       |
| 第4章 現実を揺さぶる想像力<br>《読む》<br>・異なり記念日（齋藤陽道）<br>・記号論と生のリアリティ（立川健二）<br>・金縷いの景色（藤原辰史）     | 「異なり記念日」「記号論と生のリアリティ」「金縷いの景色」を通して、他者の視点に立ち、人や物やことばとの関わりが多様性を学び、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。また、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。（第3号）               | p88<br>～113  |
| 第5章 自己と向き合う<br>《読む》<br>・こころ（夏目漱石）<br>フォーカス①夏目漱石と「こころ」<br>〈参考〉私の個人主義（夏目漱石）          | 「こころ」を通して、「自己」を追い求める日本近代文学の特色を考えるとともに、読み手によってさまざまな受け止め方があることを学び、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。（第2号）   | p114<br>～149 |

| 図書の構成・内容   | 特に意を用いた点や特色  | 該当箇所           |
|--|--|----------------|
| 第6章 過去との対話<br>《読む》<br>・死者の声を運ぶ小舟（小川洋子）<br>・論語——私の古典（高橋和巳）<br>・空と風と星と詩（茨木のり子）               | 「死者の声を運ぶ小舟」「論語——私の古典」「空と風と星と詩」という過ぎた時間への思いにあふれた文章を味わい、矛盾や葛藤を含めて物事を伝えうる文学の力に触れ、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うようにしました。（第5号） | p150<br>～ 181  |
| 第7章 世界観を築く<br>《読む》<br>・未来をつくる言葉（ドミニク・チェン）<br>・建築論ノート（松山巖）<br>・能 時間の様式（杉本博司）                | 「未来をつくる言葉」「建築論ノート」「能 時間の様式」という文章を読むことで、自分の世界観に形を与えてくれる言葉や表現を学び、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。（第1号）                                   | p 182<br>～ 203 |
| 第8章 調べとリズム<br>《書く》<br>・小景異情（室生犀星）<br>・サーカス（中原中也）<br>・永訣の朝（宮澤賢治）<br>・短歌<br>・死にたまふ母（斎藤茂吉）    | 近現代の詩歌を学ぶことを通して、詩の言葉のリズムがもつ力を感じ、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うようにしました。（第5号）   | p204<br>～ 217  |
| 実践②詩歌から発想を広げ、小説を書こう<br>《書く》  | 詩歌をもとに小説を創作する実践を通じて、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。（第2号）   | p218<br>～ 219  |
| 第9章 思考の道筋をたどる<br>《読む》<br>・化物の進化（寺田寅彦）<br>・文学の仕事（加藤周一）                                      | 「化物の進化」、「文学の仕事」という文章を通して、既成概念を疑い、新たな思考の枠組みを創り出す着眼点を学び、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。（第3号）                              | p220<br>～ 237  |
| 第10章 日常の裂け目<br>《読む》<br>・捨てない女（多和田葉子）<br>・魂込め（目取真俊）   | 「捨てない女」「魂込め」という、現実と非現実が重なり合う虚構の世界を描いた小説を通して、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うとともに、小説が伝える歴史に学び、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。（第4号、第5号） | p238<br>～ 267  |
| <h2 style="margin: 0;">第二部</h2>  |  |                |
| 第1章 物語が生まれる場所<br>（読む）<br>・小説とは何か（三島由紀夫）<br>〈参考〉遠野物語（柳田國男）<br>・陰翳礼讃（谷崎潤一郎）<br>・みづの上日記（樋口一葉） | 近代を代表する作家の小説論・日本文化論・日記をよみ味わい、独自ものの見方・考え方を理解するとともに、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うようにしました。（第5号）                             | p272<br>～ 291  |

| 図書の構成・内容  | 特に意を用いた点や特色   | 該当箇所           |
|---|---|----------------|
| 第2章 交差するドラマ<br>《読む》<br>・舞姫（森鷗外）<br>フォーカス② 近代小説の誕生<br>・鞆（安部公房）                     | 小説を通して、「個」と「社会」との対立、異なる立場や価値観がせめぎあう様相に立ち会い、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。（第2号）   | p292<br>～ 328  |
| 実践③「編集」という表現方法を楽しもう<br>《読む》   | 自らの個性を発揮してアンソロジーをつくる実践を通し、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。（第2号）  | p329           |
| 第3章 新たな視座を得る<br>《読む》<br>・くうだでき 場所の言葉（吉田文憲）<br>・絵画は紙幣に憧れる（榎木野衣）<br>・隠れん坊の精神史（藤田省三） | 「くうだでき 場所の言葉」「絵画は紙幣に憧れる」「隠れん坊の精神史」というメタファーを効果的に使った現代の随想の豊かな表現力を学ぶことで、文学的文章の表現手法について幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるようにしました。（第1号）   | p330<br>～ 353  |
| 第4章 文体がひらく世界<br>《読む》<br>・水仙（太宰 治）<br>・王国（津村記久子）                                   | 「水仙」「王国」という独自の文体をもつ小説を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。（第2号）  | p354<br>～ 383  |
| 第5章 表現を突き詰める<br>《読む》<br>・無常ということ（小林秀雄）<br>・骨とまぼろし（真木悠介）<br>・ある〈共生〉の経験から（石原吉郎）     | 「無常ということ」「骨とまぼろし」「ある〈共生〉の経験から」という人類の歴史から唯一無二の経験を読み解いて書かれた文章を通して、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。また、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。（第3号、第5号）   | p 384<br>～ 407 |
| 第6章 詩歌という隣人<br>《読む》<br>・無題（吉原幸子）<br>・旅情（石垣りん）<br>・N 森林公園の冬（北村太郎）<br>・俳句           | 現代詩や俳句のもつ一瞬をつなぎとめる文学の力を学び、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるようにしました。（第1号）  | p 408<br>～ 419 |
| 第7章 小説の可能性<br>《読む》<br>・藤野先生（魯迅）<br>・沈黙（村上春樹）                                      | 「藤野先生」「沈黙」という、重い主題を抱えた小説を通して、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。（第3号）  | p 420<br>～ 451 |
| 第8章 未来を問う<br>《読む》<br>・寛容は自らを守るために不寛容に対して不寛容になるべきか（渡辺一夫）<br>・チャンピオンの定義（大江健三郎）      | 「寛容は自らを守るために不寛容に対して不寛容になるべきか」「チャンピオンの定義」という粘り強く難題に取り込もうとする文学の力に学び、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。また、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。（第3号・第4号） | p 452<br>～ 470 |

| 図書の構成・内容                  | 特に意を用いた点や特色   | 該当箇所  |
|---------------------------|---|-------|
| 実践④ 創作の背景について調べよう<br>《書く》 | 文学作品の作者や作品について調べることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるようにしました。(第1号) | p 471 |

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・「言語文化」の学習内容の成果を発展拡充させて、「文学国語」でも豊かな人間性、創造性及び健やかな身体を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質を養うために、教材および「実践」などの言語活動におけるテーマや内容に意を用いました。(学校教育法第51条第一号)
- ・「実践」における言語活動および「読書案内」で紹介した書籍、「フォーカス」などのコラムを通して、社会において一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させることに意を払いました。(学校教育法第51条第二号)
- ・個性豊かな文学的文章に数多く触れ、また自身も創作活動に取り組むことで、個性の確立に努めるとともに、社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うことができるように意を払いました。(学校教育法第51条第三号)
- ・教材にはユニバーサル・フォントを用いて、多くの人の読みやすい紙面づくりに配慮しました。

## 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時間数表)

| ※受理番号          | 学 校            | 教 科       | 種 目     | 学 年 |
|----------------|----------------|-----------|---------|-----|
| 103—77         | 高 等 学 校        | 国 語       | 文 学 国 語 |     |
| ※発行者の<br>番号・略称 | ※教科書の<br>記号・番号 | ※ 教 科 書 名 |         |     |
| 143 筑摩         | 文国 708         | 文学国語      |         |     |

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領の総則および「文学国語」に掲げられた目標を効果的に達成するために、特に以下の点に留意して編集しました。

①育成したい資質・能力を明確化した単元構成 単元は、生徒に身につけさせたい「知識・技能」および「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性」をもとに構成しました。

「思考力・判断力・表現力」については、「書くこと」「読むこと」の、どの領域に関する言語能力を身につけたいかを分かりやすく示しました。

また単元ごとに「単元の目標」を示し、生徒が各単元を通じて、どのような資質・能力を身につけることができるのか、見通しを立てたり、学習後の振り返りを行ったりすることができるようにしました。掲載した教材にはそれぞれ冒頭に「視点」を示し、各教材を通じて身につけたい「知識・技能」および「思考力・判断力・表現力」を意識的に学習できるようにしました。

②発達段階に応じた教材を厳選 生徒の心身の発達段階を十分に考慮して、「言語文化」からの移行が円滑にできるよう、親しみやすい教材から、深い味わいを覚える教材まで厳選して掲載しました。また、教材として適度な長さで、なおかつ奥行きのある文章を選びすぎりました。

③「主体的・対話的で深い学び」の実現を促す「実践」 適宜「実践」を示し、単元を通して、「主体的・対話的で深い学び」を行うことができるようにしました。

④学習者の自学自習に便利な工夫 教材の理解を助けるために、脚問を付して、本文を的確に理解できるようにしました。また教材末尾には「理解」と「表現」を設け、教材の内容を正確に捉えることができるようにしました。各見開きに重要漢字・語句、また教材末尾に「重要漢字」を付し、生徒の語彙を増やすことができるように工夫しました。

それぞれの教材について読みを深める際に役立つように「読解の窓」などのコラムを設けました。

⑤読書指導の充実 「学びに向かう力、人間性」を支える工夫として、読書の意義を理解できるように適宜「読書案内」を設け、教材によっては著者の主な著作を紹介しました。

⑥誌面の工夫 全体に見やすいレイアウトとなるよう配慮するとともに、学習の効率化と活性化を図るために多色刷りを用い、必要な図版や地図などを適宜カラーで掲載しました。ま

た、多くの生徒の読みやすさに配慮して、ユニバーサル・デザイン・フォントを用いました。  
 ⑦デジタル・コンテンツ 学習を深める手立ての一つとして、教材に関するインターネット上の情報を適宜示し、二次元コードを用いて、情報を示したウェブページを掲載しました。

## 2. 対照表

| 図書の構成・内容                        |  | 学習指導要領の内容                  |                   | 該当箇所          | 配当時間数 |
|---------------------------------|--|----------------------------|-------------------|---------------|-------|
| 単元名                             | 教材名  | 知識・技能                      | 思考力・判断力・表現力       |               |       |
| <b>第一部</b>                      |  |                            |                   |               |       |
| 第1章 ことばから広がる世界<br>《読む》          | ・プラスチック膜を破って（梨木香歩）<br>・情報の彫刻（原研哉）<br>・バイリンガリズムの政治学（今福龍太） | (1) ア, イ, ウ, エ<br>(2) ア, イ | Bア, ウ, エ, カ       | p12<br>～ 33   | 6     |
| 第2章 物語との出会い<br>《書く》             | ・山月記（中島敦）<br>・神様（川上弘美）<br>〈参考〉神様 2011（川上弘美）              | (1) ア, イ, ウ, エ<br>(2) ア, イ | Aア, イ, ウ, エ       | p34<br>～ 58   | 10    |
| 実践① 構成と展開を工夫して、変身物語を書こう<br>《書く》 | 〈参考〉「私は」——書き出しの一行（角田光代）                                  | (1) ア, イ, ウ, エ<br>(2) ア, イ | Aア, イ, ウ, エ       | p59<br>～ 65   | 5     |
| 第3章 背後にあるメッセージ<br>《読む》          | ・実体の美と状況の美（高階秀爾）<br>・メディアと倫理（和田伸一郎）<br>・ラムネ氏のこと（坂口安吾）    | (1) ア, イ, ウ, エ<br>(2) ア, イ | Bア, イ, エ, オ, カ    | p 66<br>～ 87  | 6     |
| 第4章 現実を揺さぶる想像力<br>《読む》          | ・異なり記念日（齋藤陽道）<br>・記号論と生のリアリティ（立川健二）<br>・金繕いの景色（藤原辰史）     | (1) ア, イ, ウ, エ<br>(2) ア, イ | Bア, イ, エ, カ       | p88<br>～ 113  | 6     |
| 第5章 自己と向き合う<br>《読む》             | ・こころ（夏目漱石）<br>〈参考〉私の個人主義（夏目漱石）                           | (1) ア, イ, ウ, エ<br>(2) ア, イ | Bア, イ, エ, オ, カ, キ | p114<br>～ 149 | 8     |
| 第6章 過去との対話<br>《読む》              | ・死者の声を運ぶ小舟（小川洋子）<br>・論語——私の古典（高橋和巳）<br>・空と風と星と詩（茨木のり子）   | (1) ア, イ, ウ, エ<br>(2) ア, イ | Bア, イ, エ, オ, カ    | p150<br>～ 181 | 6     |
| 第7章 世界観を築く<br>《読む》              | ・未来をつくる言葉（ドミニク・チェン）<br>・建築論ノート（松山巖）<br>・能 時間の様式（杉本博司）    | (1) ア, イ, ウ, エ<br>(2) ア, イ | Bア, エ, オ, カ       | p182<br>～ 203 | 6     |

| 図書の構成・内容                     |   | 学習指導要領の内容                   |                      | 該当箇所           | 配当時間数 |
|------------------------------|---|-----------------------------|----------------------|----------------|-------|
| 単元名                          | 教材名   | 知識・技能                       | 思考力・判断力・表現力          |                |       |
| 第8章 調べとリズム<br>《書く》           | ・小景異情（室生犀星）<br>・サーカス（中原中也）<br>・永訣の朝（宮澤賢治）<br>・短歌<br>・死にたまふ母（斎藤茂吉） | (1) ア, イ, ウ, エ<br>(2) ア, イ  | Aア, イ, ウ, エ          | P204<br>～ 217  | 5     |
| 実践② 詩歌から発想を広げ、小説を書こう<br>《書く》 |   | Aア, イ, ウ, エ                 | Aア, イ, ウ, エ          | p 218<br>～ 219 | 5     |
| 第9章 思考の道筋をたどる<br>《読む》        | ・化物の進化（寺田寅彦）<br>・文学の仕事（加藤周一）                                      | ((1) ア, イ, ウ, エ<br>(2) ア, イ | Bア, エ, オ, カ          | p220<br>～ 237  | 6     |
| 第10章 日常の裂け目<br>《読む》          | ・捨てない女（多和田葉子）<br>・魂込め（目取真俊）                                       | (1) ア, イ, ウ, エ<br>(2) ア, イ  | Bア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ | p238<br>～ 267  | 8     |
| <b>第二部</b>                   |   |                             |                      |                |       |
| 第1章 物語が生まれつる場所<br>《読む》       | ・小説とは何か（三島由紀夫）<br>〈参考〉遠野物語<br>・陰翳礼讃（谷崎潤一郎）<br>・みづの上日記（樋口一葉）       | (1) ア, イ, ウ, エ<br>(2) ア, イ  | Bア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ | p272<br>～ 291  | 8     |
| 第2章 交差するドラマ<br>《読む》          | ・舞姫（森鷗外）<br>・鞆（安部公房）  | (1) ア, イ, ウ, エ<br>(2) ア, イ  | Bア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ | p292<br>～ 328  | 8     |
| 実践③ 「編集」という表現方法を楽しもう<br>《読む》 |   | (1) ア, イ, ウ, エ<br>(2) ア, イ  | Bア, エ, オ, カ          | p329           | 2     |
| 第3章 新たな視座を得る<br>《読む》         | ・〈うだでき〉場所の言葉（吉田文憲）<br>・絵画は紙幣に撞れる（樫木野衣）<br>・隠れん坊の精神史（藤田省三）         | (1) ア, イ, ウ, エ<br>(2) ア, イ  | Bア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ | p 330<br>～ 353 | 5     |
| 第4章 文体がひらく世界<br>《読む》         | ・水仙（太宰 治）<br>・王国（津村記久子）   | (1) ア, イ, ウ, エ<br>(2) ア, イ  | Bア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ | p354<br>～ 383  | 10    |
| 第5章 表現を突き詰める<br>《読む》         | ・無常ということ（小林秀雄）<br>・骨とまぼろし（真木悠介）<br>・ある〈共生〉の経験から（石原吉郎）             | (1) ア, イ, ウ, エ<br>(2) ア, イ  | Bア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ | p384<br>～ 407  | 8     |

| 図書の構成・内容                  |   | 学習指導要領の内容                  |                      | 該当箇所           | 配当時間数 |
|---------------------------|---|----------------------------|----------------------|----------------|-------|
| 単元名                       | 教材名   | 知識・技能                      | 思考力・判断力・表現力          |                |       |
| 第6章 詩歌という隣人<br>《読む》       | ・無題（吉原幸子）<br>・旅情（石垣りん）<br>・N 森林公園の冬（北村太郎）<br>・俳句        | (1) ア, イ, ウ, エ<br>(2) ア, イ | Bア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ | p 408<br>～ 419 | 5     |
| 第7章 小説の可能性<br>《読む》        | ・藤野先生（魯迅）<br>・沈黙（村上春樹）                                  | (1) ア, イ, ウ, エ<br>(2) ア, イ | Bア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ | p420<br>～ 451  | 6     |
| 第8章 未来を問う<br>《読む》         | ・寛容は自らを守るために不寛容に対して不寛容になるべきか（渡辺一夫）<br>・チャンピオンの定義（大江健三郎） | (1) ア, イ, ウ, エ<br>(2) ア, イ | Bア, イ, エ, オ, カ, キ    | p 452<br>～ 470 | 6     |
| 実践④ 創作の背景について調べよう<br>《書く》 |   | (1) ア, イ, ウ, エ<br>(2) ア, イ | Aア, イ, ウ, エ          | p 471          | 5     |

合計 140